

事業概要シート

施策

2003

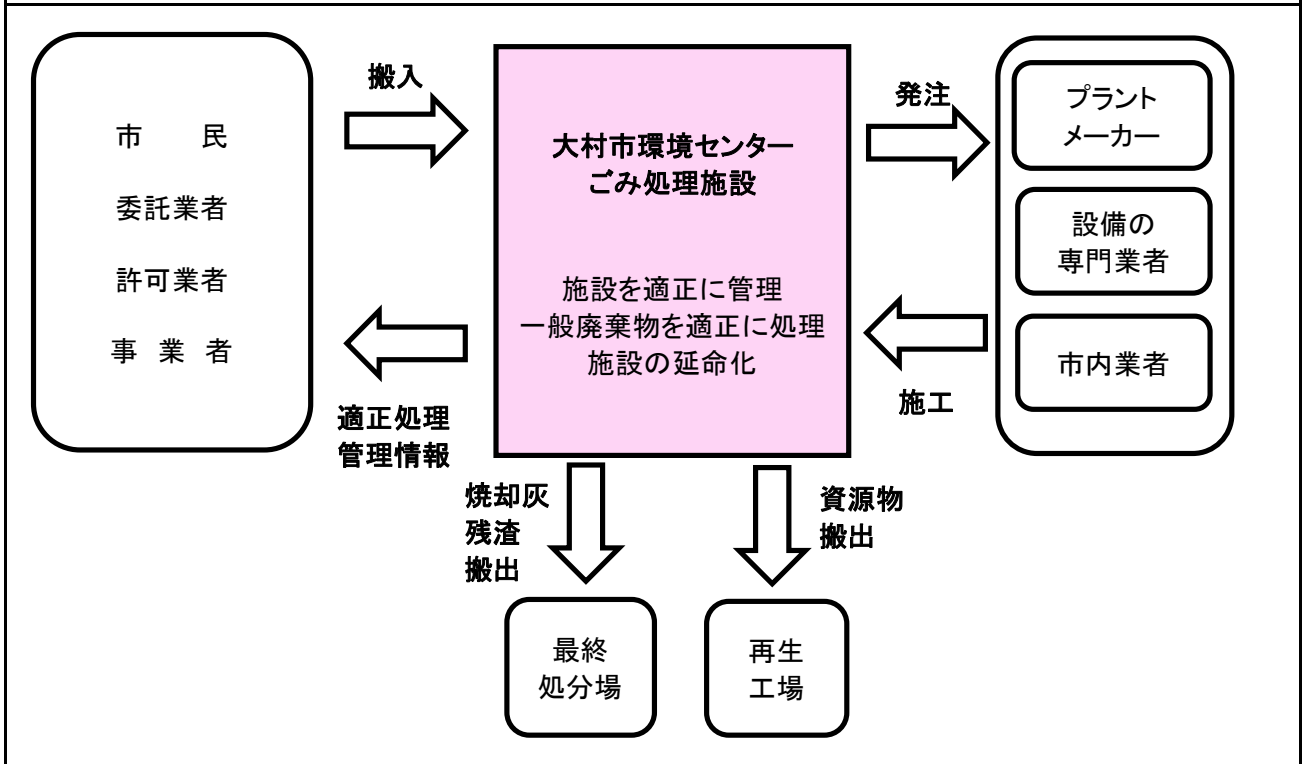
ごみの減量化と適正処理の推進

《 》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	廃棄物処理施設維持管理事業	現状維持	予算額	708,215 千円	
				《 》 1,059,889 千円	
事業期間	平成9年度 ~		財源内訳	国庫支出金	千円
		県支出金		千円	
根拠法令要綱等	廃棄物処理及び清掃に関する法律、大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、大村市一般廃棄物処理基本計画			地方債	123,200 千円
		その他		26,046 千円	
			一般財源	558,969 千円	

【事業の目的・概要・対象】

ごみ処理施設の安定的な運営を行うため、計画的な補修工事及び定期的な点検・整備・測定分析等を実施し、施設の正常な機能を維持する。
 令和3年4月15日の火災事故による、ごみ処理施設の焼損被害に対する修繕復旧費が新たに生じていることから、令和3年度事業費が増加している。



【背景】

環境センター（ごみ焼却施設）の各設備が老朽化し、令和9年度に耐用年数である30年を迎えることから、廃棄物処理施設更新事業で、新たな施設整備を行う計画であるが、新施設稼働までの間、安定的な運営を行うため、施設の正常な機能を維持するための最低限の補修を行う必要がある。
 令和3年4月15日の火災事故による、ごみ処理施設の焼損被害に対し、復旧工事等を実施し令和4年度中の全体復旧を目指している。

担当課	市民環境部 環境センター	課長	荒木 良也
担当者	金子 忠敏	問合せ先	0957-54-3100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	ごみ焼却施設が稼働した日数（日）	計画値 日	338	300	300	300	300
②	可燃ごみの焼却量	計画値 t/年	29,808	30,000	30,000	30,000	30,000

【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	1日当たりの焼却量（t/日） （ごみの焼却量/稼働日数）	計画値 t/日	88.2	100	100	100	100
②		計画値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	327,511	433,942	1,059,889	708,215	555,036	308,449	3,393,042
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債				123,200	184,940		308,140
その他	56,393	113,353	40,804	26,046	26,046	26,046	288,688
一般財源	271,118	320,589	1,019,085	558,969	344,050	282,403	2,796,214
人件費	75,931	66,963	68,247	66,963	66,963	66,963	412,029
職員(人)	9.04人	8.04人	8.04人	8.04人	8.04人	8.04人	49.24人
時間外勤務(h)	2321h	2398h	3040h	2398h	2398h	2398h	14953h
会計年度任用職員(人)	3.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	13.00人
フルコスト	403,442	500,905	1,128,136	775,178	621,999	375,412	3,805,071

妥当性 (市の関与)	
有効性 (施策貢献度)	
効率性 (コスト)	計画的な補修工事及び定期的な点検・整備・測定分析等を行い、施設を維持管理するために必要な費用である。

1次評価	担当者の記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり